

第 4 回 村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議 会議録

日 時	令和 3 年 2 月 5 日（金）午後 3 時 30 分～午後 5 時 10 分
場 所	石神コミュニティセンター会議室
出席者	・各村立幼稚園職員（7 名） ・村立保育所及びこども園職員（3 名） ・指導室（1 名） ・子育て支援課（4 名）
次 第	1. 開会 2. 子育て支援課長挨拶 3. グループワーク 「これからの村立幼稚園に求められるものとは」 4. 閉会

1. 開会

2. 子育て支援課長挨拶

3. グループワーク

テーマについてグループワーク形式で意見出し。

「これからの村立幼稚園に求められるものとは」

- ・村立幼稚園のニーズが減少したと考えられる原因について意見出しを行い、出された意見（原因）を踏まえて、これから保育者として何をしていかなければならないのか、今後の村立幼稚園に求められる取組みについて、多方面から検討を行った。
- ・グループワークで出された意見については、別添「第 4 回村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議意見出しのまとめ」のとおり。

<グループワークで出た意見に対する感想等>

- ・現在の「のびのび子育て帳」は、目的の内容にたどり着くまでが大変である。
- ・職員の資質向上は大事だと思う。資質向上はやろうと思えばすぐにできることであり、気づいたこと、できることは前倒しでやっていったほうが、自分たちも早いうちから慣れていけるし、いざ村松幼稚園に一か所になったときにすぐ、みんなで同じスタートが切れると思う。
- ・職員の資質向上なども大事だと思うが、今のまま普段の仕事の量にプラスしていくと限界がきてしまう。もちろん良いことは全部できるというが、そのための時間をつくるためにはやり方を工夫しないと、現場がきつくなってしまうと思う。

<まとめ>

- ・次回以降は、村立幼稚園での新たな取組みを考えていくところで、まず考えられる「給食や弁当の提供」や「預かり保育」などについて話し合っていきたい。

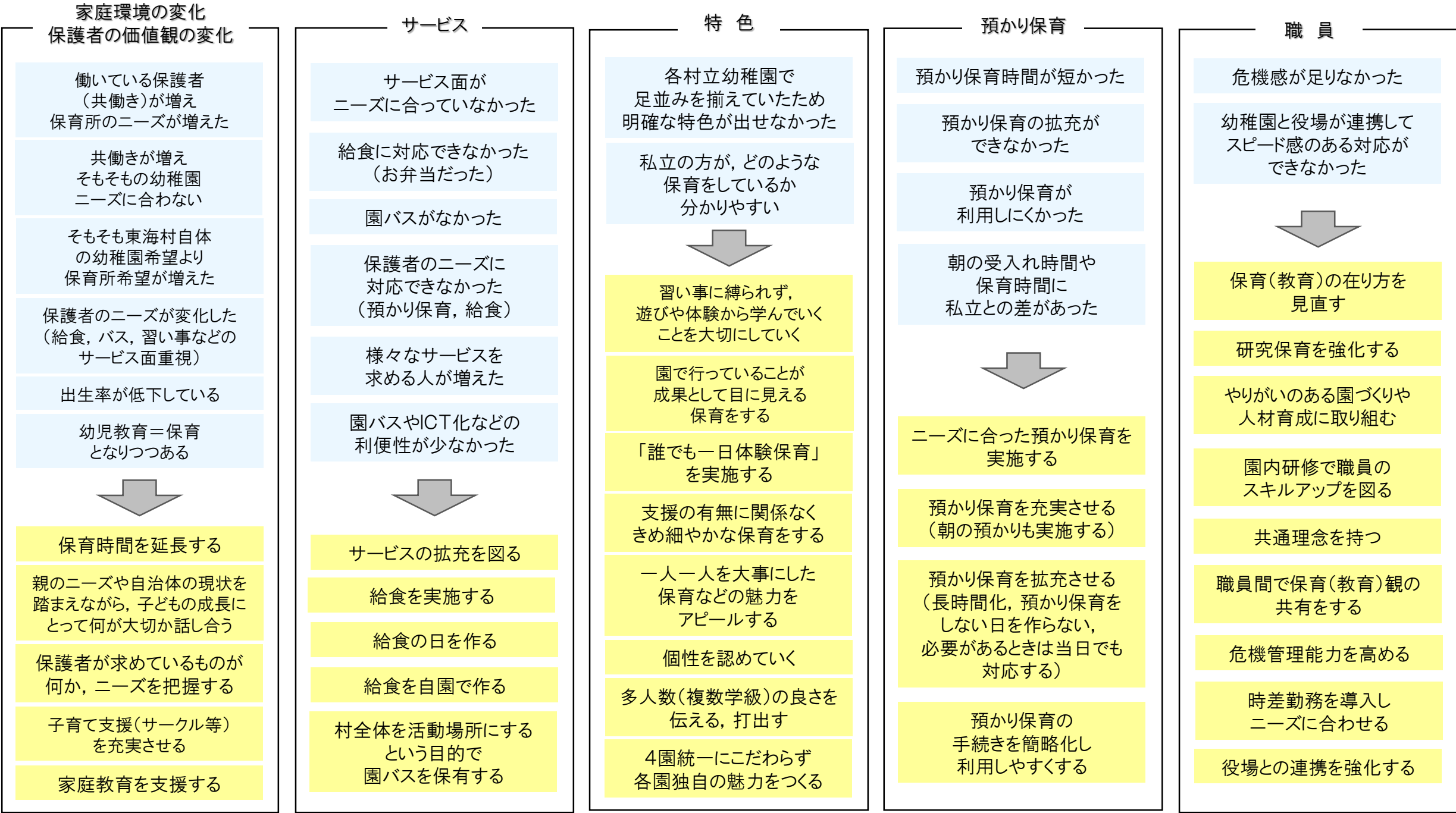
4. 閉会

テーマ：村立幼稚園の在籍児童数の減少の原因

原因

今後求められる取組み

今後の方向性を判断するための材料として、実施の可否を問わず、多方面から検討を行ったものであり、決定事項ではありません。



テーマ：村立幼稚園の在籍児童数の減少の原因

原因

今後求められる取り組み

今後の方向性を判断するための材料として、実施の可否を問わず、多方面から検討を行ったものであり、決定事項ではありません。

PR

幼稚園運営

公立の存在意義

保育料無償化

施設

公立の魅力ある保育が
アピール不足だった

未就園児へのアプローチが
不十分だった

発信力が弱く
園に入ってみなければ
園の魅力が分からない

ポータルサイトや
ホームページの
活用が不足していた



村報や広告、ポスターなど
積極的に情報発信する

公立としての強みを
積極的にアピールする

乳幼児健診の待ち時間を
利用して園のPR動画を流す

アイヴィル等の施設を利用し
説明会を行う

ICT(コドモン)を活用する

村松幼稚園の魅力を表など
にして分かりやすくする

様々な方法で発信し、
広く理解を求める中で
「遊びの中の学び」が
いかに重要か発信する

すこやかハウスや
児童センターなどに
職員が出向いてPRする

小学校とのつながり
(幼小連携)を
充実させる

自然や環境、地域との
つながりをつくる

地域の環境を活かす

地域の人と協力する

保護者とともに
保育(教育)を行う

開かれた幼稚園を
意識して運営する

園の方針を明確化する

習い事に匹敵する
遊びから学ぶ力を
見える化する

今までの良いところを
継承しながら
新しいものを取り入れていく

「村民と作る幼稚園」など
別の価値観を持たせる

どの家庭の人でも
入ることができ
平等に教育を受けられる

病気や障がい、
生活苦などを問わず、
誰でも受け入れる

経済面、子どもの発達、
アレルギーなどにより
私立園に行けない、
行けなかった家庭の
受け皿となる

保護者との関わり

保護者とのつながりを
強くする

保護者との関わりを
増やす工夫をする

積極的に
保護者と関わる

保育料無償化で
公立の良さのひとつ
(保育料の安さ)が
なくなってしまった

無償化に伴って
私立へ流れてしまった

無償化の前に保育料が
値上がってしまった

私立園が選びやすくなった

私立と比べて
サービスの差が大きく
私立の方がお得感がある

私立園の魅力が大きい
(園バス、2歳児保育)

定員があった

以前は3歳児に定員があり
抽選があったことで
保護者の抵抗感が生まれた

入園希望者を
定員抽選を理由に
断ってしまった